

名古屋大学哲学会会則

第1条 本会は名古屋大学哲学会と称する。

第2条 本会は哲学研究の進展と普及に努め、併せて会員相互の研究所の連絡と親睦を図ることを目的とする。

第3条 本会はこの目的を達成するために左の事業を行う。

- 1：年1回の研究大会の開催
- 2：研究発表会、講演会等の適時開催
- 3：解放ないし機関誌の発行、配布
- 4：その他必要な事業

第4条 本会は一般会員、教官会員、特別会員より構成される。

・一般会員：次の①もしくは②のいずれかに該当する者

①名古屋大学文学部・文学研究科哲学研究室に過去に在籍した者および現在在籍している者

②①以外の、名古屋大学に過去に在籍した者もしくは現在在籍しているもので、入会を希望する者

・教官会員

名古屋大学文学部・文学研究科哲学研究室、および情報科学研究科(旧教養部)哲学系研究室に過去に所属した教官、および現在所属している教官

第5条 本会は左の役員をおく。

- ・委員：若干名
- ・会計監査：2名
- ・漢字：若干名

第6条 総会は年1回定期的に開き、その他必要があれば臨時に開くことができる。総会は会員の中より委員および会計監査を選出する。また総会は一般報告並びに会計報告を受ける。

第7条 委員は会員の中より、教官・学生・卒業生、各若干名とする。

第8条 委員は委員会を構成し、総会の決定に従って会の運営について協議決定する。

第9条 委員の中より委員長1名を選出する。委員長は本会を代表する。

第10条 委員の任期は2年とする。

第11条 会計監査は年1回会計を監査する。その任期は2年とし、他の役員を兼

ねることはできない。

第12条 幹事は委員会より委嘱され、任期1年とし、本会の事務を行う。

第13条 役員はすべて再任をさまたげない。

第14条 本会の会員は、左に定める年会費を納めるものとする。但し、教官会員の内、過去に所属した教官は、一般会員と同額の年会費を納めるものとする。

一般会員 2,000円

教官会員 3,000円

特別会員 3,000円

第15条 本会則は委員会の決議を経て変更することができる。但し、総会の承認を要する。

次号の『名古屋大学哲学論集』は2017年4月に発行予定です。執筆者の募集及び論文投稿の締め切りは16年度になります。募集の詳細および日程は別途会報でお知らせいたします。なお、執筆者には抜刷(30部)の代金として3,000円をご負担いただきます。

執筆者紹介

宮原勇（みやはら いさむ）

現在、名古屋大学大学院文学研究科教授

岩佐宣明（いわさ のぶあき）

現在、愛知学院大学教養部講師

曾我千亜紀（そが ちあき）

現在、大阪産業大学准教授

野内玲（のうち れい）

現在、信州大学医学部 CITI JAPAN PROJECT 助教（特定雇用）

三谷竜彦（みたに たつひこ）

現在、岐阜大学・南山大学等非常勤講師